

にじだより

NIJIDAYORI

別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじり広報誌

最終号（令和7年12月号）

- ▶ にじの就労移行支援
- ▶ 障害者雇用の
にじスタッフのお仕事紹介

ありがとう
ありがとう
ありがとう



にじの就労移行支援

にじの
就労移行支援とは？

自立訓練（機能訓練・生活訓練）の課題がクリアし、さらに「一般企業で働く」ことを目指す方に訓練を提供しています。入所施設ということもあり、生活の安定から職業訓練、就職活動、さらには職場定着までを一貫してサポートします。利用者の方の得意なことや障害特性に応じて、“働く”を応援します！また障害者職業センター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、ご本人の職場など関係機関と連携し、その方の適職を探ったり、仕事が定着するように支援をします。

対象者

- ・18歳以上65歳未満
- ・身体障害、高次脳機能障害、難病など
- ・身の回りのことがおおむね自己管理できている方
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・「働きたい」という意欲がある方

過去の就職（復職）実績

- | | |
|-------------|----------------|
| ・病院（事務） | ・市町村役場（事務） |
| ・本屋（バックヤード） | ・老人施設（介護補助） |
| ・施設（訓練支援員） | ・県役場（清掃） |
| ・製造業（製造） | ・薬局（勤怠管理・デザイン） |
| ・美容室（補助業務） | ・病院（消毒作業、清掃） |

一日のスケジュール

時間	項目
9:00～9:30	朝礼
9:30～12:00	午前中の訓練
12:00～12:50	昼休憩
12:50～13:20	プリント課題
13:20～15:30	午後の訓練
15:30～15:50	終礼

就労移行支援訓練の一部をご紹介・・・



朝礼



清掃作業



バイク訓練



事務作業



職業評価



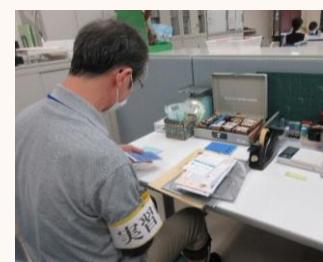
備品管理



植物管理



訓練準備の支援



事務実習



売店実習

障害者雇用のにじスタッフのお仕事紹介



【Aさん プロフィール】

40代 男性

疾患：左被殻出血

障害：右片麻痺、失語症、高次脳機能障害

勤務状況：令和元年4月～ 相談支援部門にてフルタイム（週5日、8時間勤務）

利用期間：機能訓練（約1年5か月）、就労移行支援（約1年3か月）

＼こんなお仕事をしています！／

メッセンジャー業務



各部署への書類や荷物の運搬を行っています。

 運搬方法が工夫ポイント！
肩掛けカバンや台車を使います。

電子システム入力作業



血圧や体温、体重など利用者のデータを入力します。

約60名の利用者情報を正確に入力することが大切です。ミスがないようにチェックをつけながら進めています。

外出・外泊の手続き処理



利用者から提出された書類をチェックしファイルに記載します。

外出時間や食事止めなど確認し、担当者に正確に伝達します。滑り止めを使用して記入します。

ファイリング作業



書類を各ファイルに綴じていきます。

左手（非利き手）のみの作業です。
ファイルの背表紙にラベルを貼る時は足に挟んで行います。

日誌や確認表の作成



1日の予定や利用者数などを入れた施設日誌を準備します。
利用者の入退所に合わせてその都度、確認表も作成します。

急な予定変更も多いため、確認して計画的に準備・作成をします。

消耗品の在庫管理



棚の在庫を確認し、必要物品を注文書に入力します。納品後は棚に入れます。

1か月に1回行っています。
コピー用紙など重いですが頑張っています！

職場の仲間より… にじ退所後、就労継続支援A型事業所で働き、その後別府リハビリテーションセンターへ就職されました。「任された仕事はやり遂げる」それがAさんの強みです。
ITB（体の緊張を落とす機械）の調子が悪かったり、体調を崩すこともありますが、ここ5年はほとんど休まず仕事に行けています。

Aさんよりひとこと…「自分で段取りを考え、業務を終わらせるのが楽しいです。」



【Bさん プロフィール】

50代 男性

疾患：左被殻出血

障害：右片麻痺、失語症、高次脳機能障害

勤務状況：令和3年10月～ リハビリ部門にてフルタイム（週5日、8時間勤務）

利用期間：機能訓練（約1年5か月）、就労移行支援（約1年6か月）

＼こんなお仕事をしています！／

訓練担当



農園芸、手芸、実習、生活訓練、応用作業などの訓練の支援をします。

 利用者の症状等に合わせ支援します。
Bさんはいつも笑顔で接しています。
時には厳しく…。

レクリエーション担当



映画上映会や歌声教室などの内容決めや準備を実施しています。

Bさん自ら楽しみながら実施されています。利用者も一緒に楽しめています。

施設管理業務



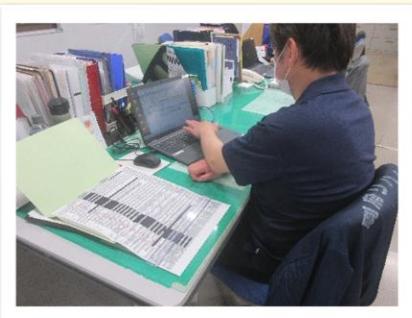
施設内にある訓練器具や居室、共有部分の手すりなど、時間を決めて消毒作業を行っています。

曜日を決めて実施しています。
休みの日は別日に実施するなど計画的に進めています。

電子システムへの入力作業

購入物品の書類作成

ナースコール点検



各訓練の出席表を確認しながら、利用者の電子システムに出席・欠席を入力します。

毎日1名の利用者さんが複数の訓練に参加するため、すべてを記録するのはかなりの手間がかかります。

購入物品の稟議書作成、スタッフの勤務予定の入力、ファイリングなどを行います。

パソコンの作業は大変ですが他のスタッフに相談しながら、進めることができます。

施設内すべてのナースコールが壊れていないか確認します。1時間半ほどかかる根気のいる作業です。

部屋番号を間違えないようにチェックをします。

職場の仲間より… にじの就労移行支援の期間中には、ハローワークで求人情報を見て、世の中の厳しさを感じているようでした。それでもいつも明るかで前向きだったBさん。にじと一緒に働くようになり、いつも笑顔で頑張っています。

Bさんよりひとこと…「腰痛に悩まされたり、自宅の電化製品が壊れたりと日々いろいろなことがあります。家で映画やドラマを見たり、料理をしたりととても充実しています。」



【Cさん プロフィール】

40代 男性

疾患：左被殻出血

障害：右片麻痺、失語症、高次脳機能障害

勤務状況：令和4年4月～リハビリ部門にてフルタイム（週5日、8時間勤務）

利用期間：機能訓練（約1年6か月）、就労移行支援（約1年2か月）

＼こんなお仕事をしています！／

訓練担当（革工芸）



革工芸の訓練担当です。その他物品購入、訓練準備に携わっています。

 左手（非利き手）での作業となります。時には利用者やスタッフのもう一つの手を借りて工夫しています。

訓練担当（バイク）



バイク訓練では乗降できない方の見守りやサポートを行います。麻痺側の足をペダルに入れるのが難しい方には足を乗せるお手伝いもします。

運動時間や走行距離、消費カロリーなど、利用者の記録も行います。

訓練担当（生活・清掃支援）



居室清掃やシーツ交換を行う生活訓練の支援をします。

片手しか使えないCさんが教える姿は、利用者さんの励みになっています。Cさん自身も清掃が得意です。

施設管理（手すり拭き）



施設や各居室内のトイレの手すりを消毒します。

居室はプライベートな空間なので、配慮しながら行います。当日実施できなかった場所はその都度報告します。

自主トレの記録作業



利用者の歩行練習記録を、記録表に写します。

週明けは記録表がたくさんあります。皆さんよく歩いています…。

障害者スポーツ（卓球バレー/ボッチャ）



ボッチャや卓球バレーの訓練の支援をします。利用者とともに準備や審判、得点つけなど行います。

利用者の特性を生かして役割分担をします。欠席が多い時は、選手としても活躍します。

職場の仲間より…

にじの利用者として訓練を行っている時に「物作りの仕事がしたい」と話され革工芸を極めました。その能力を活かし革工芸訓練担当者として採用されました。今も昔も「生活・仕事への姿勢はぶれない」Cさんです。

Cさんよりひとこと…

「就職後にてんかん発作があったり、体調を崩して入院したこともありましたが、革工芸の技術アップを目指して、日々頑張っています。毎日、朝早く起きて、洗濯や掃除をしています。（とても綺麗なお部屋です）」



【Dさん プロフィール】

60代 男性

疾患: 右心原性脳塞栓症

障害: 左片麻痺、高次脳機能障害

勤務状況: 令和6年10月～リハビリ部門にてフルタイム(週5日、8時間勤務)

利用期間: 機能訓練(約3か月)、就労移行支援(約9か月)

＼こんなお仕事をしています！／

訓練担当 (就労移行支援)



就労移行支援利用者の訓練(清掃や施設管理)、朝礼や終礼を実施。

 利用者の先輩として、人生の先輩としてもアドバイスを行います。

訓練担当(受注作業)



職員より依頼を受けた軽作業を行う訓練です。利用者が実施できるように準備、説明をします。

実施の目的や方法を丁寧にお伝えします。納期があつたりするのも…。

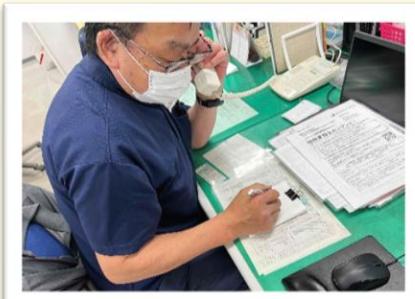
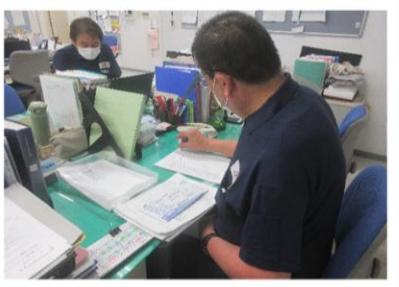
補装具チェック (メンテナンス)



利用者が使用している装具や車椅子のメンテナンスを行います。タイヤの空気も入れます。

左手が十分に使用できませんが、工夫して行います。皆さんの安全のため…。

事務補助作業



訓練記録のファイリング、ステーションでの受付対応、電話対応など実施しています。

入職してすぐは電話対応は難しかったですが、今では電話を、メモをとり、伝達できます。

施設管理作業



介護福祉士業務の補助作業を行います。リネンの準備、入浴物品の清掃、冷蔵庫の確認など細かな作業を実施します。

気になる点があれば介護福祉士へ報告・連絡・相談を行います。

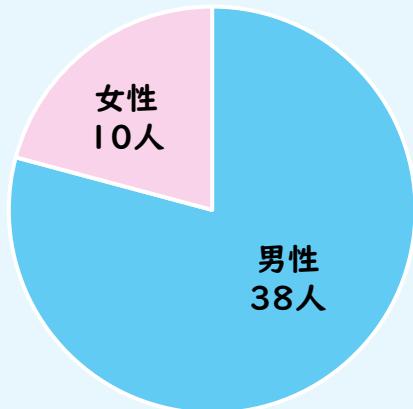
職場の仲間より…病前のいろいろなお仕事の経験を活かされて、就労移行支援訓練でも様々なことに取り組まれました。いつも丁寧な姿勢のDさんです。

Dさんよりひとつ…「ご飯がとても好きで食べ過ぎてしまい、体重に気をつけています。にじの訓練では利用者に対し、障害のある方の先輩として、人生・仕事の先輩として一緒に頑張りたいと思っています。」

にじの就労移行支援対象者データ

(平成31年4月～令和6年3月末 総数48名) 過去の就労対象者の情報です。(一部重複あり)

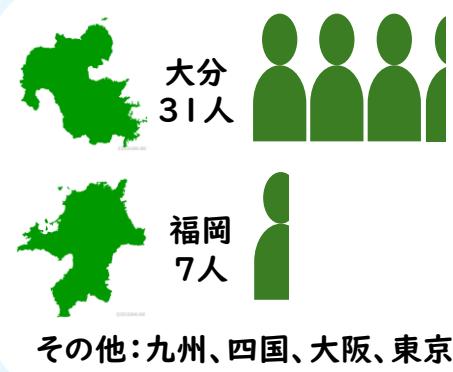
性別



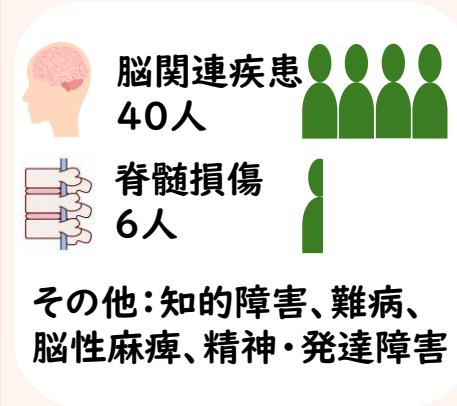
年齢



居住都道府県別



疾患別



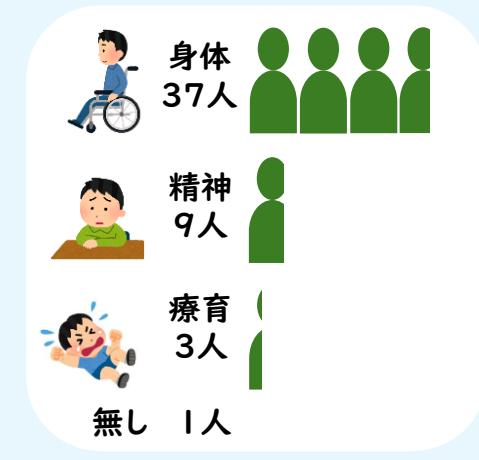
失語症の有無



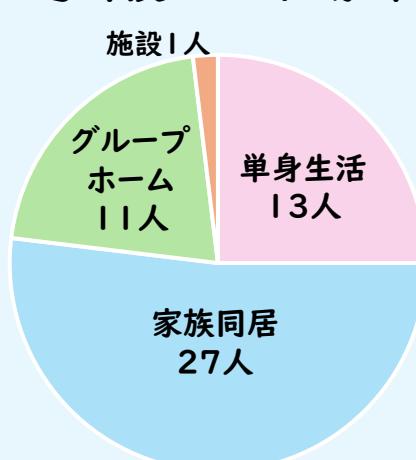
高次能機能障害の有無



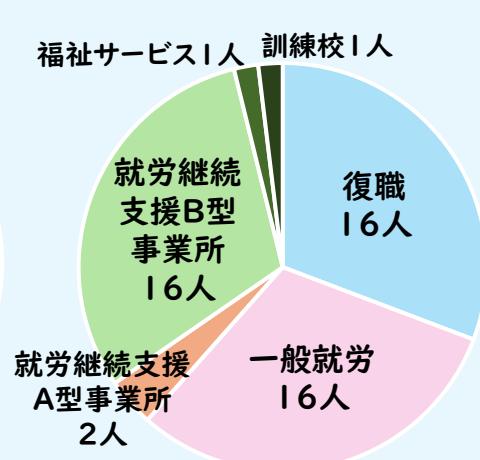
手帳の種類



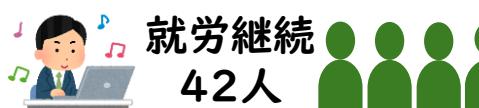
退所後の生活場所



退所後日中活動



現在の生活状況



その他: 出産による休職、B型→A型作業所
福祉サービス→就労訓練中 など

～最終回に感謝をこめて～

平成30年からの本誌も今回で最終号となりました。「にじをみんなに知っていただきたい!」という思いで慣れないながらに作成を進めてまいりましたが、3か月に一度みなさまとつながれる機会でもあったと思います。

発刊から7年、回数を数えること30回。訓練や施設イベントや新職員のご紹介さらには「にじ」卒業生へのインタビュー、一人暮らしを始めた方のお宅に訪問した内容を掲載したこともありました。

また、編集作業や発送準備にあたっては、利用者の方々の手助けもいただきました。片麻痺の方が片手で丁寧にページを折り封筒に入れてくださったり「こんな記事はどう?」「この写真を表紙に使ってみては?」とアイデアをくださる利用者の方もいました。

スタッフだけでなく、利用者の方々の手を通じてみなさまの元へお届けすることができました。これまで培ってきたつながりが、これからも続いていきますよう今後も変わらぬご交流をいただけましたら幸いです。

にじの広報誌は一区切りとなります。長きにわたりご愛読いただきましたみなさま、そして支えてくださったすべての方々に心からの感謝を込めて――

本当にありがとうございました。

にじだより 編集委員一同



ご相談・ご質問をお待ちしております！

入所担当：小野

「にじ」インスタ始めました



Instagram

社会福祉法人 農協共済

別府リハビリテーションセンター

障害者支援施設にじ

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL : 0977-67-1716

FAX : 0977-67-8576

URL : <https://brc.or.jp>

